



■アクセスガイド
 三陸自動車道「登米I.C.」より車で約3分
 東北自動車道「古川I.C.」より車で約40分

登米市上下水道部

〒987-0702 宮城県登米市登米町寺池目子待井381番地1
 経営総務課・業務係 / TEL.0220(52)3311
 経営管理係 / TEL.0220(52)3313
 出納管財係 / TEL.0220(52)3314
 FAX.0220(52)3316
 水道施設課・水道整備係 / TEL.0220(52)3312
 水道管理係 / TEL.0220(52)3312
 FAX.0220(52)3316
 下水道施設課・下水道整備係 / TEL.0220(52)3320
 下水道管理係 / TEL.0220(52)3320
 FAX.0220(52)3381
 〒987-0702 宮城県登米市登米町寺池道場80番地
 保呂羽浄水場 / TEL.0220(52)2640
 FAX.0220(52)2653

E-mail suidosomu@city.tome.miyagi.jp
 URL <http://tome-suido.com>



登米市の水道



登米市上下水道部
<http://tome-suido.com>

地域のみなさんが安心して利用できる「水道水」をお届けします。

みなさんのもとに水道水が届くまでに、多くの水道施設が日々活躍しています。
「とめ・すいどう」では、1市1水道体制でより安全でおいしい水道水の給水を実現していきます。



施設名	所在地・施設能力(水利種)
1 保呂羽浄水場	登米市登米町寺池道場80 30,700(31,300) m ³ /日
2 石越浄水場	登米市石越町南郷字高森352-1 2,100(2,184) m ³ /日
3 大萱沢浄水場	登米市津山町横山字大萱沢150-2 760m ³ /日
4 米川浄水場	登米市東和町米川字町130-3 1,420m ³ /日
5 錦織浄水場	登米市東和町米谷字大嶺100-2 850(880) m ³ /日
6 米谷浄水場	登米市東和町米谷字大嶺101-2 1,200m ³ /日
7 楼台浄水場	登米市東和町米谷字楼台49-1 110m ³ /日
8 合ノ木浄水場	登米市東和町米川字合ノ木84-8 8m ³ /日
9 大綱木浄水場	登米市東和町米川字大綱木41-2 10m ³ /日



北方配水池

施設名	能力
1 保呂羽配水池(1号~4号)	1号 2,400m ³ 、2号 2,400m ³ 、3号 3,800m ³ 、4号 6,100m ³
1 日根牛配水池★	700m ³
2 北方配水池(1号~2号)★	1号 2,000m ³ 、2号 2,000m ³ 、ポンプ3台 φ100mm×1.40m ³ /min
3 新田配水池(1号~2号)◎★	1号 2,000m ³ 、2号 2,000m ³ 、ポンプ4台 φ150mm×2.46m ³ /min
4 本宮配水池	200m ³
5 保手配水池★	700m ³
6 相の山配水池★	500m ³
7 大岳配水池	200m ³
8 浅部配水池	10m ³
9 石越配水池(1号~3号)★	1号 400m ³ 、2号 150m ³ 、3号 700m ³
10 石貝配水池	110m ³
11 前田沢配水池★	490m ³
12 桑の沢配水池	130m ³
13 米谷第1配水池	200m ³
14 米谷第2配水池◎★	300m ³
15 嵯峨立配水池	150m ³
16 錦織配水池	200m ³
17 平倉配水池	120m ³
18 米川配水池(1号~2号)★	1号 259m ³ 、2号 200m ³
19 東上沢配水池	62m ³
20 楼台配水池★	122m ³

★印は緊急遮断弁を設置している配水池



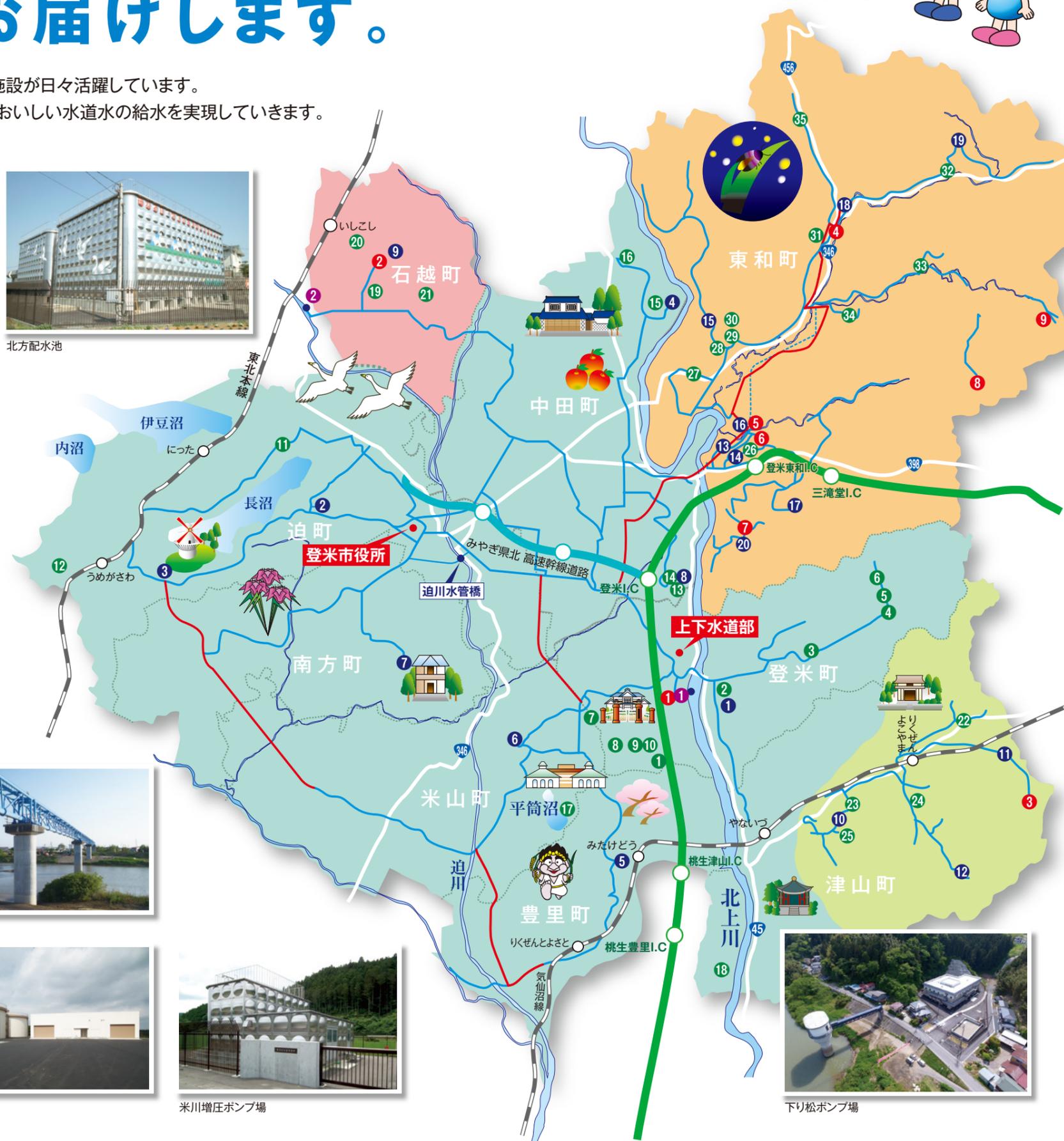
迫川水管橋



新田配水池



米川増圧ポンプ場



施設名	能力
1 下り松取水塔	取水ポンプ4台 φ250mm×7.24m ³ /min
下り松ポンプ場	導水ポンプ4台 φ300mm×7.24m ³ /min
2 大巻取水場	取水ポンプ2台 φ125mm×1.52m ³ /min

施設名	能力
1 保呂羽増圧ポンプ	ポンプ2台 φ40mm×0.25m ³ /min
1 銀山増圧ポンプ場	ポンプ2台 φ50mm×0.6m ³ /min
2 小池増圧ポンプ場	ポンプ2台 φ30mm×0.17m ³ /min
3 下羽沢増圧ポンプ場	ポンプ2台 φ40mm×0.09m ³ /min
4 上羽沢増圧ポンプ場	ポンプ2台 φ40mm×0.1m ³ /min
5 森林公園増圧ポンプ場1	ポンプ2台 φ40mm×0.027m ³ /min
6 森林公園増圧ポンプ場2	ポンプ2台 φ40mm×0.027m ³ /min
7 森ノ腰増圧ポンプ場	ポンプ2台 φ40mm×0.053m ³ /min
8 西針田増圧ポンプ場	ポンプ2台 φ40mm×0.30m ³ /min
9 東針田増圧ポンプ場	ポンプ2台 φ40mm×0.13m ³ /min
10 東針田第2増圧ポンプ場	ポンプ2台 φ40mm×0.139m ³ /min
11 倉崎増圧ポンプ場	ポンプ2台 φ65mm×0.60m ³ /min
12 葉の木沢増圧ポンプ場	ポンプ1台 φ20mm×0.033m ³ /min
13 浅部増圧ポンプ場	ポンプ1台 φ40mm×0.30m ³ /min
14 浅部玉山増圧ポンプ場	ポンプ1台 φ25mm×0.026m ³ /min
15 八幡山増圧ポンプ場	ポンプ2台 φ40mm×0.60m ³ /min
16 大泉増圧ポンプ場	ポンプ1台 φ50mm×0.33m ³ /min
5 保手増圧ポンプ	ポンプ2台 φ40mm×0.28m ³ /min
17 貝待井増圧ポンプ場	ポンプ1台 φ20mm×0.033m ³ /min
18 宮沢増圧ポンプ場	ポンプ1台 φ25mm×0.065m ³ /min
19 愛宕中継ポンプ場	ポンプ2台 φ80mm×1.5m ³ /min
20 田上増圧ポンプ場	ポンプ2台 φ40mm×0.164m ³ /min
21 十八引増圧ポンプ場	ポンプ2台 φ40mm×0.1m ³ /min
3 大萱沢増圧ポンプ	ポンプ2台 φ40mm×0.3m ³ /min
22 竹の沢ポンプ場	ポンプ2台 φ50mm×0.41m ³ /min
23 伊貝ポンプ場	ポンプ2台 φ32mm×0.05m ³ /min
12 桑の沢増圧ポンプ	ポンプ2台 φ40mm×0.225m ³ /min
24 地志貝増圧ポンプ場	ポンプ2台 φ30mm×0.081m ³ /min
25 藤平ポンプ場	ポンプ1台 φ20mm×0.033m ³ /min
26 平倉送水ポンプ	ポンプ2台 φ40mm×0.18m ³ /min
27 沼山増圧ポンプ場	ポンプ2台 φ40mm×0.30m ³ /min
28 嵯峨立送水ポンプ場	ポンプ2台 φ40mm×0.1m ³ /min
29 大沢加圧ポンプ場	ポンプ2台 φ40mm×0.14m ³ /min
30 長円田増圧ポンプ場	ポンプ2台 φ32mm×0.07m ³ /min
31 米川増圧ポンプ場	ポンプ2台 φ65mm×0.512m ³ /min
32 東上沢送水ポンプ場	ポンプ2台 φ40mm×0.16m ³ /min
33 馬の足加圧ポンプ場	ポンプ2台 φ40mm×0.075m ³ /min
34 館の下加圧ポンプ場	ポンプ1台 φ50mm×0.14m ³ /min
8 合ノ木増圧ポンプ	ポンプ2台 φ40mm×0.048m ³ /min
9 大綱木増圧ポンプ	ポンプ2台 φ40mm×0.048m ³ /min
35 稲村加圧ポンプ場	ポンプ2台 φ40mm×0.25m ³ /min

◎印は自家発電機を設置している施設



登米市→下関市の距離に相当

保呂羽浄水場



北上川の水を原水とする登米市内で一番大きな浄水場です。



保呂羽浄水場は登米町にあり、約6万5千人に給水しています。昭和52年6月に完成し、40年の時を刻んできました。

保呂羽のいわれは古く、文治5年奥州総奉行に任せられ、近郷7郡30万石を領した葛西氏によって造られたとみられる山城跡であり、歴史ロマンを感じさせる場所から水を送っています。



11 管理本館
保呂羽浄水場の管理を行っているところです。

●水質検査室

北上川の原水、浄水場の各地点の水、そして送られた水道水の水質について管理しています。

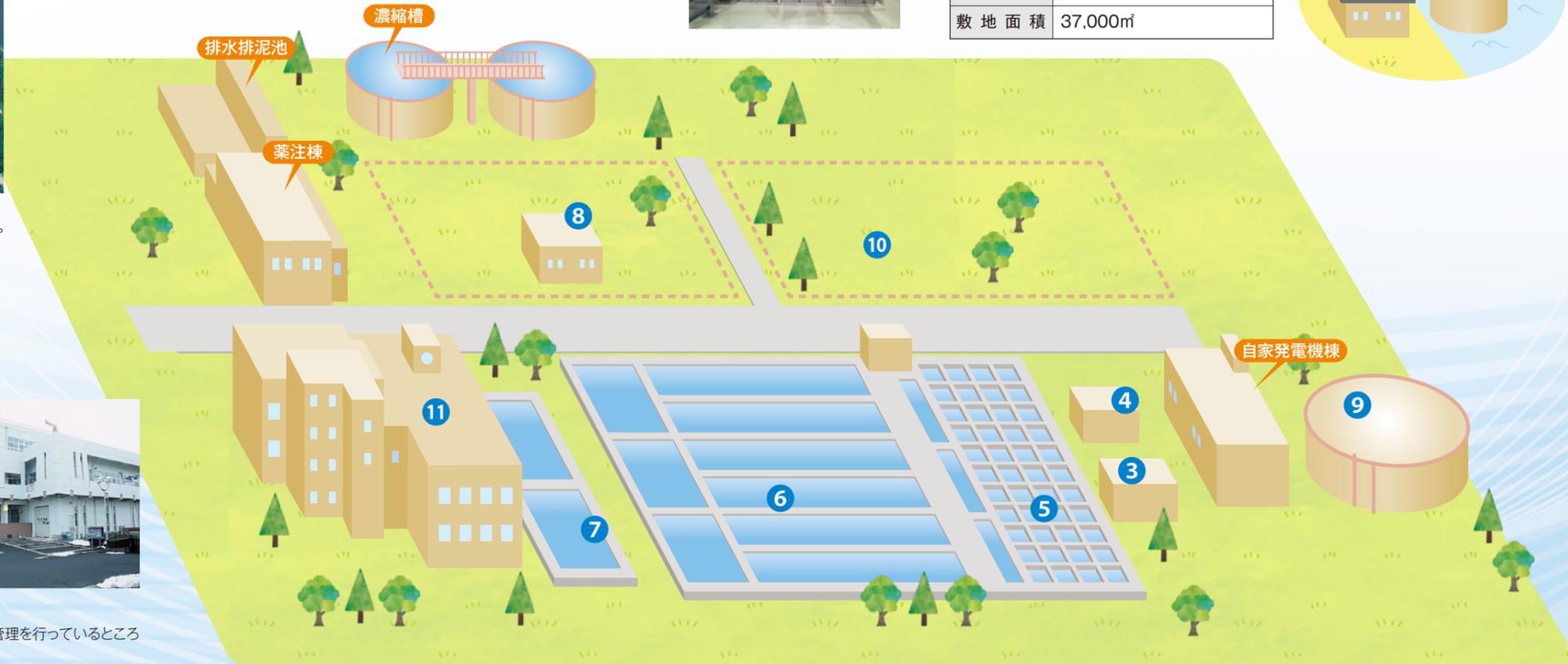


●自家発電機

地震など災害の発生に備え、下り松ポンプ場及び保呂羽浄水場に自家発電機を設置しています。



保呂羽浄水場データ	
給水開始	昭和52年6月
水源	北上川水系北上川(表流水)
取水・導水方式	取水塔・ポンプ圧送
浄水処理方式	薬品沈殿・急速ろ過、塩素滅菌
施設能力	30,700m ³ /日
敷地面積	37,000m ²



おいしくて安全な水道水ができるまで



1 下り松取水塔

北上川の水をポンプで汲み上げます。塔内には、1台あたり1日10.426m³の汲み上げ能力を持ったポンプ4台(1台は予備)が設置されています。



2 下り松ポンプ場

取水塔で汲み上げられた水に含まれる砂や土などを沈殿させて取り除いた後、浄水場へ送ります。カビ臭など水質の変動に対応して活性炭を注入することができます。



3 着水井(ちやくすいせい)

浄水場に到着した水は、最初にこの池に入ります。ここでは水の濁り具合など、水質の状況を確認し、次の混和地での薬品注入量などを決めます。



4 混和池(こんわち)

この池では、汲み上げられた水に含まれる不純物(汚れの粒子)同士をまとめて沈みやすくするため凝集剤(ポリ塩化アルミニウム)を入れ攪拌します。



5 フロック形成池

水の中の汚れの粒子は、この池をゆっくりと流れながら、しだいに大きなフロックとなります。
※フロックとは凝集剤などを添加したことにより生じる汚れのかたまりです。



6 沈殿池(ちんでんち)

大きくなったフロックは、この池を約5時間かけてゆっくりと進みながら徐々に沈んでいきます。そして、きれいになった上澄み水はろ過池へ送られ、沈んだフロックは濃縮槽へ送られます。



7 急速ろ過池(きゅうそくろかち)

この池では、ろ過材(砂利・砂)を通してろ過し沈殿しきれなかったゴミを全て取り除きます。そして消毒薬(次亜塩素酸ナトリウム)を入れます。これで飲める水「浄水」の完成です。



8 保呂羽1号配水池(2,400m³)

保呂羽2号配水池(2,400m³)

9 保呂羽3号配水池(3,800m³)

10 保呂羽4号配水池(6,100m³)

浄水は一旦これらの配水池へ溜められ、配水管を通して、皆さんのもとへ送られます。

石越浄水場



平成16年12月に完成した浄水施設はこの建物の中に納められています。

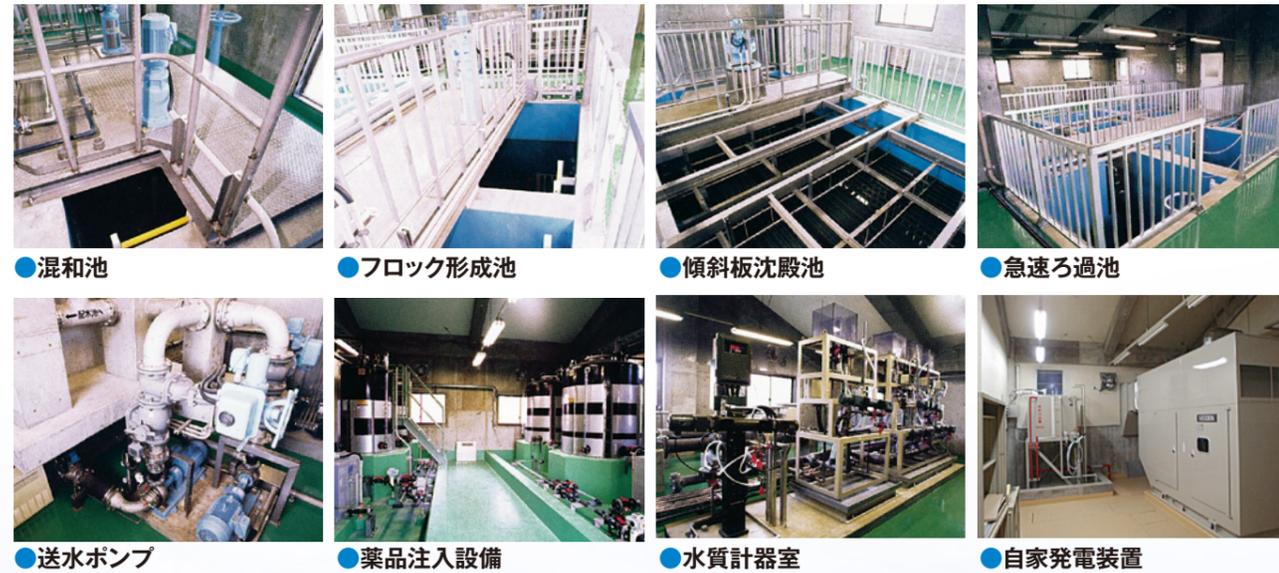
石越浄水場は施設の老朽化に伴い、平成16年12月に新設されました。浄水方法は傾斜板入り沈殿池と急速ろ過方式によるものです。

浄水施設は全て建物の中に納められ、立体的・機能的に整備されています。外部からの影響を受けることなく作業ができます。

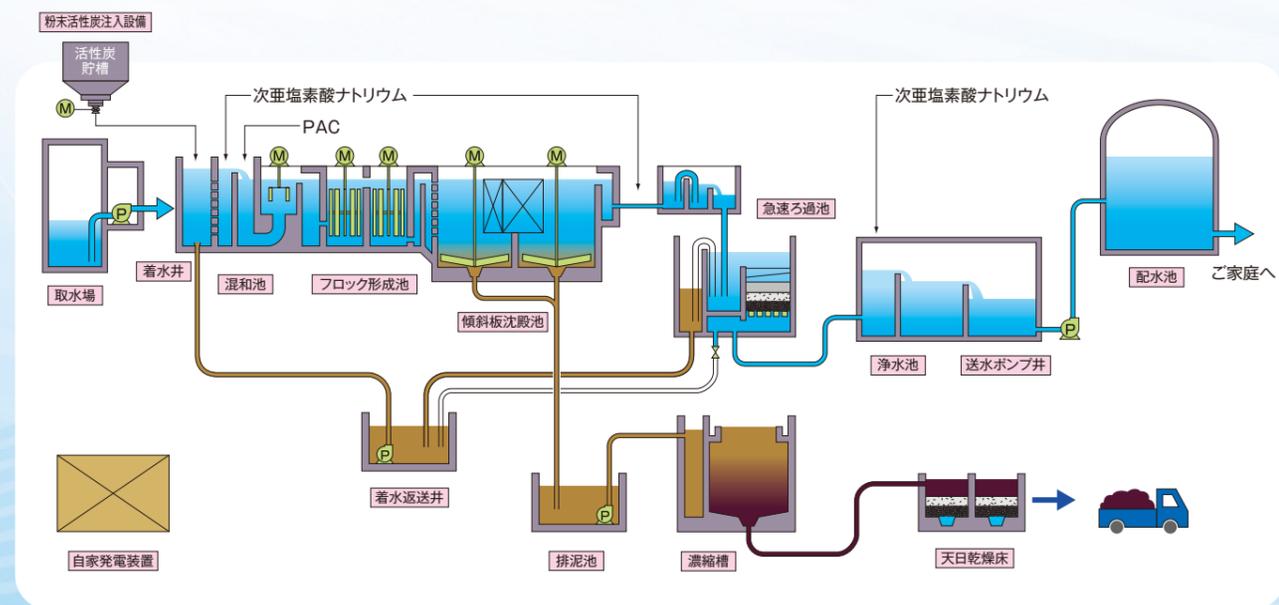
平成24年度には、停電時にも水を作れるよう自家発電装置を設置しました。



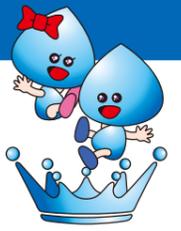
石越浄水場データ	
給水開始	平成16年12月
水源	北上川水系迫川(表流水)
取水・導水方式	導水路・ポンプ圧送
浄水処理方式	薬品沈殿・急速ろ過、塩素滅菌
施設能力	2,100m ³ /日
敷地面積	6,309m ²



●混和池 ●フロック形成池 ●傾斜板沈殿池 ●急速ろ過池
●送水ポンプ ●薬品注入設備 ●水質計器室 ●自家発電装置



大萱沢浄水場



天然記念物「イヌワシ」の生息地。
緩速ろ過方式はこの環境がなせる業です。

翁倉山の大萱沢の湧水を水源として津山町横山地区に給水している大萱沢浄水場です。

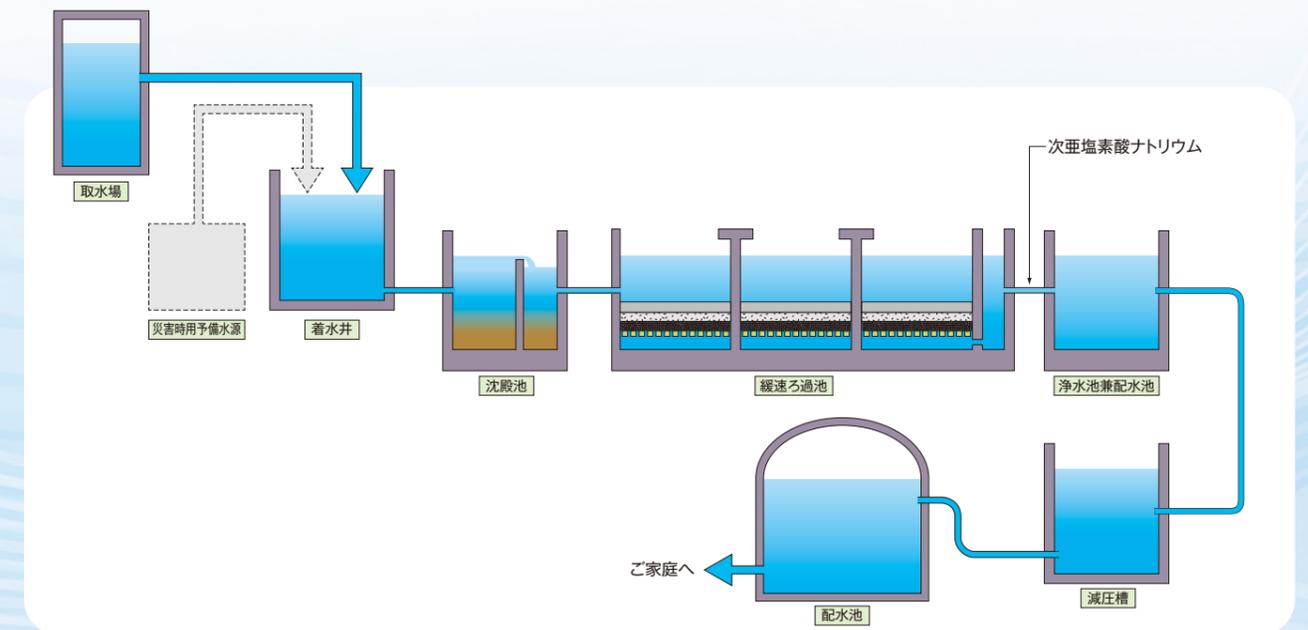
今では珍しい緩速ろ過方式による浄水方法で水をつくっています。緩速ろ過方式は水処理薬品を使用せずに微生物の浄化能力を使い、時間をかけてろ過する方法です。ろ過能力が急速ろ過に比べ劣るため、原水がきれいなところに採用されています。



大萱沢浄水場データ	
給水開始	平成10年1月
水源	大萱沢(湧水)
取水・導水方式	集水枠・接合井・導水管
浄水処理方式	沈殿池・緩速ろ過、塩素滅菌
施設能力	760m ³ /日
敷地面積	4,215m ²



●着水井 ●沈殿池 ●緩速ろ過池 ●浄水池兼配水池
●砂置場 ●ポンプ及び薬注室 ●電気及び薬注室 ●予備水源



米川浄水場

東和町米川地区に給水する米川浄水場

米川浄水場は敷地内の井戸から汲み上げる地下水を原水としていて、水質が安定しているためろ過処理ではなく、塩素や紫外線処理装置による滅菌処理で水を作っています。ここで滅菌した水は若草山の配水池に送られPH(水素イオン濃度)調整を行ってから給水されます。



米川浄水場データ	
給水開始	昭和47年3月
水源	北上川水系二股川(地下水)
取水・導水方式	浅井戸・取水ポンプ
浄水処理方式	塩素滅菌・紫外線・脱炭酸処理
施設能力	1,420m ³ /日
敷地面積	505m ²

錦織浄水場

東和町錦織地区と米谷地区の一部に給水する錦織浄水場

錦織浄水場は大関川の伏流水を原水としています。ここでは水中の汚れなどをろ過膜で除去して水を作る、膜ろ過方式の浄水処理を行っています。浄水場の上流約1kmにある三滝堂は清流に親しむ市民に人気の公園で夏は大勢の人でにぎわいます。



錦織浄水場データ	
給水開始	昭和32年4月
水源	北上川水系大関川(伏流水)
取水・導水方式	浅井戸・取水ポンプ
浄水処理方式	薬品沈殿・膜ろ過、塩素滅菌
施設能力	850m ³ /日
敷地面積	388m ²

米谷浄水場

東和町米谷地区に給水する米谷浄水場

錦織浄水場と道を挟んで向かい合う米谷浄水場は、敷地内の井戸から汲み上げる地下水を原水としています。米川浄水場と同じく原水の水質が安定しているためろ過処理ではなく、塩素や紫外線処理装置による滅菌処理方式です。



米谷浄水場データ	
給水開始	昭和55年3月
水源	北上川水系大関川(地下水)
取水・導水方式	浅井戸・取水ポンプ
浄水処理方式	塩素滅菌・紫外線処理
施設能力	1,200m ³ /日
敷地面積	861m ²

楼台浄水場

東和町楼台地区に給水する楼台浄水場

楼台浄水場は敷地内の井戸から汲み上げる地下水を原水としています。ここでは原水の水質が安定しているため凝集剤と滅菌剤を注入した後、沈殿させることなくろ過するマイクロブロック方式の浄水処理を行っています。



楼台浄水場データ	
給水開始	平成12年4月
水源	北上川水系恩田川(地下水)
取水・導水方式	浅井戸・取水ポンプ
浄水処理方式	ろ過タンク方式・塩素滅菌
施設能力	110m ³ /日
敷地面積	332m ²

合ノ木浄水場

東和町合ノ木地区に給水する合ノ木浄水場

合ノ木浄水場は合ノ木川の表流水を原水とし、水中の汚れ等をろ過膜で除去して水を作る膜ろ過処理を行っています。膜ろ過方式は、これまでの砂ろ過方式より面積が小さくて済むため、コンパクトな施設となっています。



合ノ木浄水場データ	
給水開始	平成17年4月
水源	北上川水系合ノ木川(表流水)
取水・導水方式	取水堰・自然流下
浄水処理方式	膜ろ過・塩素滅菌
施設能力	8m ³ /日
敷地面積	100m ²

大綱木浄水場

東和町大綱木地区に給水する大綱木浄水場

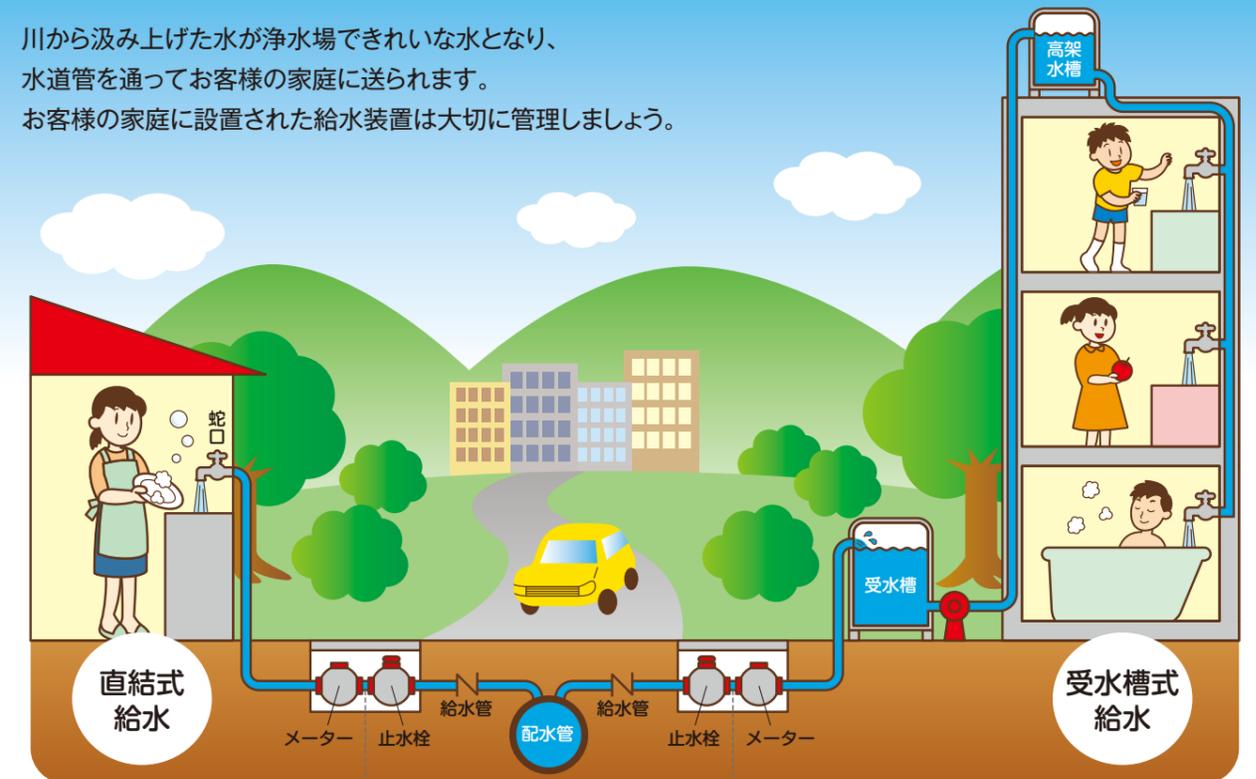
大綱木浄水場は上鱒淵川の表流水を原水としています。合ノ木浄水場と同じく取水施設から高低差を利用して取水し、膜ろ過を使った浄水処理を行っています。平成26年度に合ノ木浄水場とともに地区での管理から登米市水道事業へ統合されました。



大綱木浄水場データ	
給水開始	平成17年4月
水源	北上川水系上鱒淵川(表流水)
取水・導水方式	取水堰・自然流下
浄水処理方式	膜ろ過・塩素滅菌
施設能力	10m ³ /日
敷地面積	100m ²

給水装置のしくみと費用負担は このようになっています。

川から汲み上げた水が浄水場できれいな水となり、水道管を通ってお客様の家庭に送られます。お客様の家庭に設置された給水装置は大切に管理しましょう。



維持管理	お客様	お客様または登米市	お客様
工事費負担	1	お客様(原因者)	
	2		登米市
修理等の依頼先	指定工事事業者	登米市	指定工事事業者

1 お客様(原因者)が負担する工事費

- 新築、増築や老朽などお客様の都合で給水管の入れ替えや移設する工事(メーター器の移設費も含む)
- 水道管やメーター器・メーターBOX・止水栓を破損させた場合の工事
- メーター器下流側で発生した給水管の漏水修理工事
- その他お客様の都合による給水装置工事

2 登米市が負担する工事費

- 配水管改良工事に伴う給水管の接続工事
- メーター検針に支障となるメーター器の位置改良工事
- メーター器上流側で発生した給水管の漏水修理工事(破損以外)

水道事業の財政としくみ ～水道事業は独立採算制～

私たちの水道事業は、市民税などの税金によるものではなく、みなさんからいただいた水道料金ですべてをまかなうというしくみです。みなさんのご家庭に安全で安定的に水をお届けするためには、施設の整備、改良を行わなければなりません。このような建設資金は、そのほとんどが国や銀行からの借入金でまかなわれています。そして、この借入金と利子は水道料金の中から返済するというのが今の水道財政のしくみです。



これからも、豊かな生活の担い手として潤いをみなさんのもとへ。

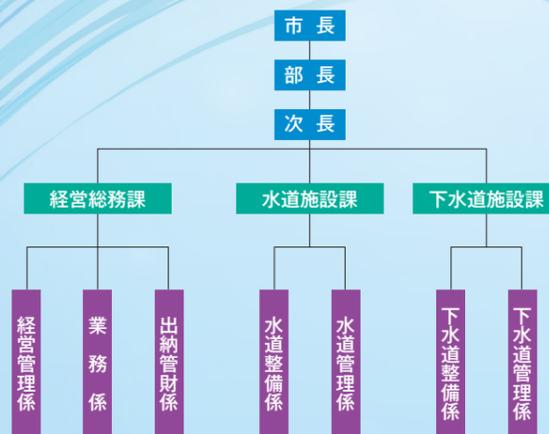


●とめすいどうの沿革

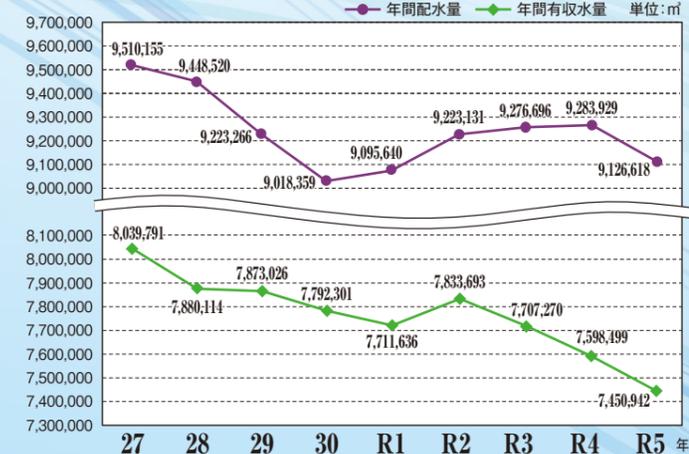
- | | |
|--|--|
| 昭和24年 ● 迫町、登米町が「登米水道企業団」創設 | 平成21年 ● 地域水道ビジョン策定 |
| 昭和52年 ● 水道用水の供給開始 (登米地方広域水道企業団) | 平成22年 ● 料金徴収等管理業務を委託 (水道お客様センター開設)
● 東日本大震災発生 |
| 昭和54年 ● 水道用水供給事業の廃止と水道事業の経営厚生大臣認可登米地方広域水道事業がスタート
● 米谷、岩の沢、米川簡易水道を統合して東和町上水道設立 | 平成23年 ● 浄水施設等管理運転業務を委託 |
| 平成 3年 ● 芦倉、小谷地、渋川簡易水道を統合して石越町上水道設立 | 平成26年 ● 地域水道ビジョン改訂 |
| 平成 7年 ● 津山町石貝、横山、寺倉簡易水道を統合して横山簡易水道認可変更知事許可 | 平成27年 ● 保呂羽、石越浄水場の浄水方法及び合ノ木、大綱木浄水場の取水地点の変更認可 |
| 平成10年 ● 津山町大萱沢浄水場竣工 | 平成28年 ● 新田配水池竣工
● 配水施設等維持管理業務を委託 |
| 平成15年 ● 東和町楼台浄水場竣工 | 平成29年 ● 水道事業経営戦略策定 |
| 平成16年 ● 石越浄水場竣工 | 平成30年 ● 下り松ポンプ場竣工 |
| 平成17年 ● 登米市誕生に伴い登米市水道事業を創設 | 令和 2年 ● 建設部下水道課と水道事業所の組織統合し上下水道部を設置 |
| 平成18年 ● 水道事業所事務所を登米庁舎に移転 | 令和 5年 ● 水道料金改定
● 地域水道ビジョン改訂
● 水道事業経営戦略改訂 |
| 平成19年 ● 登米市水道事業が横山簡易水道事業を統合「1市1水道」体制をスタート | |
| 平成20年 ● 保呂羽浄水場系配水濁度上昇に伴う事故発生
● 米川及び米谷浄水場の浄水方法の変更認可
● 保呂羽浄水場の運転管理を業者委託 | |

●とめすいどうのデータ

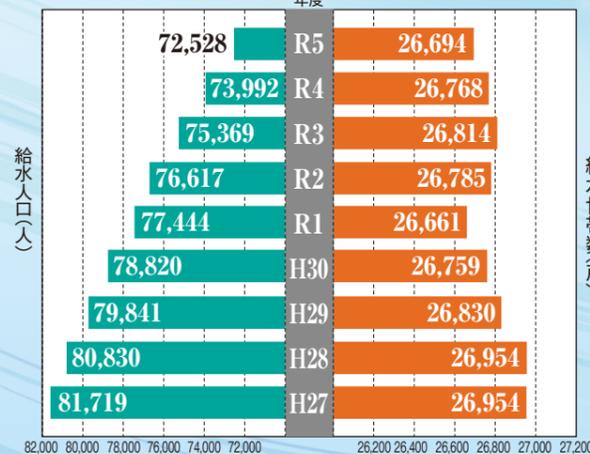
■登米市上下水道部 組織機構図(令和6年4月1日現在)



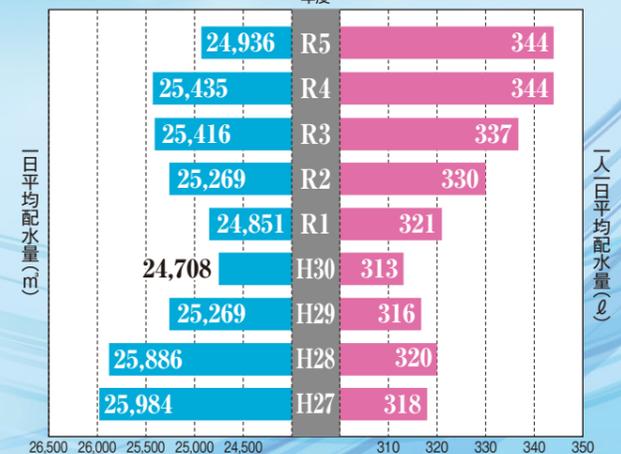
■年間配水量と年間有収水量



■給水人口と給水世帯数



■一日の平均配水量



〈住民サービスの充実を目指して〉 各種業務を民間事業者へ委託しています。

上下水道部では、民間会社が持つノウハウやネットワークを活用し、お客様サービスのより一層の向上や事務の効率化を図り、健全な経営を推進するため、メーターの検針や料金徴収をはじめ、浄水場の運転監視業務、給水装置工事に関する業務を民間事業者へ委託しています。

■料金徴収・給水装置管理等業務

【主な業務】

- 水道メーターの管理や取付け取外し業務
- 検針及び水道料金計算業務
- 料金収納及び未収金管理業務
- 帳票やデータ入力等の電算処理業務
- 給水装置工事申請の受付業務
- 給水装置の窓口対応業務
- 給水装置工事の検査業務
- 給水装置に伴う苦情・相談・現場対応業務

【委託事業者】

フジ地中情報株式会社・登米市管工事業協同組合・テクノ・マインド株式会社共同企業体 (料金徴収業務)
水道お客様センター ☎0120-023-151 (給水装置管理等業務)
水道お客様センターとよま(上下水道部内) ☎0120-53-1167 (固定電話からのみとなります)
TEL.0220-53-1151



■浄水施設等管理運転業務

【主な業務】

- 運転や薬品注入等の運転管理業務
- 機械設備・電気設備等の保守点検業務
- 浄水施設等の環境整備業務
- 水質検査及び管理等の水質管理業務

【委託事業者】

明電舎・アイ・ケー・エス共同企業体
保呂羽浄水場内/TEL.0220-52-5881



■配水施設等維持管理業務

【主な業務】

- 配水管路等の維持管理業務
- 緊急工事の施工業務
- 漏水調査業務
- 給水車の維持管理業務
- 図面等の整理業務
- 道路占用等補助業務

【委託事業者】

登米市管工事業協同組合・フジ地中情報株式会社共同企業体
管工事業協同組合/TEL.0220-52-3911

